

# 私たちが考える甲賀市の未来 ～かふか21子ども未来会議～



## 実行委員長に聞く

かふか21子ども未来会議 実行委員長  
林 善彦さん



林 善彦さん

**Q** この会議を作ろうと思ったきっかけは？  
**A** 甲賀市が合併後5年経過した時期に、甲賀市青少年育成市民会議水口支部活動の中で次の甲賀市を担う現在の子ども達の育成活動に「社会教育の立場から何かをやらう」という発案がありました。ちょうどその時、滋賀県の「子ども県議会」へ見学に行き市でも始めようとしたのがきっかけです。

**Q** 子ども議員の活動を通じて、子ども達の成長をどのように感じますか？  
**A** 活動期間は7カ月あまりですが、子どもたちが日々の暮らしの中さまざまなことに関心をもち、大人と一緒に考え、行動することによって大きく成長してくれていると感じます。

単年度だけの活動ではなく、複数年にわたり子ども議員活動に応募してくれる児童・生徒もいることが、大変心強いと思います。中学校を卒業してからはOBとして、また、高校生・大学生リーダーとして協力いただけることをうれしく思います。

この子どもたちが、10年後には社会人に、20年後には甲賀市の中核となるメンバーになっていることを期待しています。

## 子ども議員に聞く 応募したきっかけは？



水口小学校 6年 藤井 栞姫さん

提案を一緒にしませんかと誘われ、楽しそうだなと思ったのがきっかけです。実際にやってみると自分で考えたりすることが楽しくて、今年も応募しました。



貴生川小学校 5年 米谷 心結さん

誰かの役に立つことを考えると、やってみたいと思ったからです。緊張はしたが、誰かのためになると考えるとうれしかったです。



甲南第二小学校 6年 木村 心美さん

子ども議員は2年目です。議会で何かを言えるということが新鮮だなと思ったのがきっかけです。自分がやってみたいと思ったことなので、市長へ提言できたことは良かったです。

## 子ども議員への任命式 いよいよ議員活動へ



▲市長から任命書を手渡される子ども議員

学校などを通じた募集を経て、昨年6月15日には任命式が行われ、今年度は21人の子ども議員が誕生しました。  
いよいよ子ども議員としての活動がスタートします。初めて議員となる児童、昨年度から引き続き議員となる生徒など普段は出会っていない学校や、違う学年の友達との意見交換など、多くの貴重な体験が待っています。



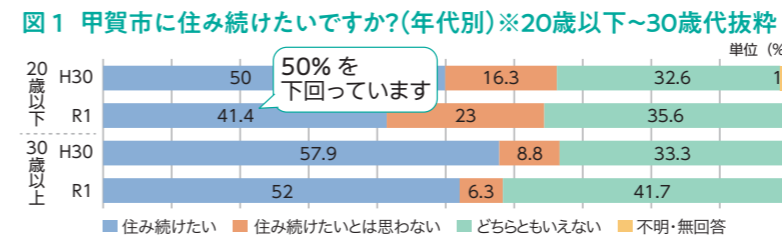
▲21名の子どもの議員の皆さん

子ども目線で市の課題を見つけ解決に向けた提案を行う「甲賀市子ども議会」が1月26日に開催され、21人の子ども議員が登場しました。

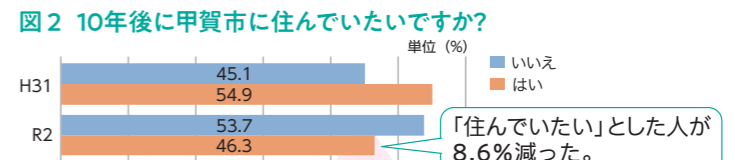
## 地域への愛着と 定住意向の向上へ向けて

甲賀市への愛着と、自分たちの住むまちへ関心をもち、より良いまちの実現の主体者になってもらおうと活動しているのが今年で9年目を迎える「かふか21子ども未来会議」です。

政治や行政への関心の薄れは、全国的に低下している投票率をはじめ、先の市民意識調査や、成人式での新成人に聞いた甲賀市への定住意向の結果からも見て取れます。地域に愛着をもち、住み続けたいと思うまち、そんな甲賀市をみんなで考えていこうと、「子ども議員」は活動しています。



上の図1は今年度実施した市民意識調査の結果です。特に20歳以下の年代において甲賀市に住み続けたいと答えた割合は半数以下となっています。  
下の図2は、今年の成人式で甲賀市に住み続けたいかを聞いたアンケート結果です。



▲アンケートに回答する新成人